

## ごあいさつ

今年度より地域連携推進センター長を拝命しました吉本好延と申します。どうぞよろしくお願いいたします。聖隷クリストファー大学地域連携推進センター年報第11号（2019）の刊行にあたり、ご挨拶させていただきます。

本学は、地域の保健医療福祉・教育の発展と地域振興に資する大学として、自治体や他大学と連携して事業を行っています。地域連携推進センターの活動は、2020年度現在で12年目に入っており、当年報では2019年度の実績を報告しております。2019年度は、1) 地域連携事業研究の実施、2) オープンカレッジの開講（市民対象公開講座等）、3) 浜松市と大学との連携事業～大学生による講座～、などに取り組みました。

地域連携事業研究の実施の目的は、本学周辺地域の保健医療福祉・教育分野に貢献する事業研究を推進することであり、研究を推進するために『地域連携事業研究費』を配分しています。2019年度は計6件（区分A：6件、区分B：0件）、計1,293,120円の事業研究費を配分しました。また2020年度より、これまでの地域連携事業研究費を「地域連携プロジェクト費」へと変更しました。

オープンカレッジ事業（市民対象公開講座等）の目的は、地域の保健医療福祉・教育の質の向上を図ることであり、市民を対象に実施しています。2019年度は、市民から要望の高いテーマを取り上げ、講座を3回（公開講座2回、web講座1回）実施しました。

「浜松市と大学との連携事業～大学生による講座～」の目的は、市民と大学生が生涯学習を通じて、自己の成長および学びの成果を地域に還元していくことです。浜松市が企画・推進する事業に本学が参画しており、本学では2019年度に年間で22回の講座を実施し、述べ513名の市民の方々に参加いただきました。

そのほか、当センターが窓口となり、地域での各種研修会への講師等の派遣、保健医療福祉・教育の専門分野の委員等の派遣を行っており、地域との連携・協働による課題解決を図り、地域の保健医療福祉・教育の更なる質の向上のため積極的に活動しています。派遣の実績につきましては、ホームページでも公開していますので、ご依頼の際は当センターのホームページよりお申し込みいただき、ご不明な点等ございましたら、地域連携推進センター事務局までお問い合わせください。

当センターの事業を通じて、行政や企業、他大学と連携を図り、地域の保健医療福祉・教育の発展と地域振興に貢献してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2020年11月

聖隷クリストファー大学  
地域連携推進センター  
センター長 吉本 好延